

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗1792	1266	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↘ 33	34	ヘルパンギーナ	→ 2	2
咽頭結膜熱	↗ 33	26	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↗ 9	8
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	↘ 100	116	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 716	652	流行性角結膜炎 (はやり目)	↘ 10	24
水痘	↗ 87	79	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	→ 45	45	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↘ 0	1	マイコプラズマ肺炎	↘ 1	5
突発性発しん	↘ 40	42	クラミジア肺炎	↘ 0	2

報告が多い感染症

- インフルエンザ
- 感染性胃腸炎
- A群溶血性レンサ球菌

- インフルエンザは、報告数1,792件(前週報告数1,266件)と増加。地区別では、山鹿、宇城、天草に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の308件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 感染性胃腸炎は、報告数716件(前週報告数652件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、有明に多く報告がみられます。年齢別では、1歳の133件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、報告数100件(前週報告数116件)と減少。地区別では、菊池、宇城、熊本に多く報告がみられます。年齢別では6歳の15件を最多に幅広い年齢層からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	516	8	10	38	179	38	6		16			2		10				
山鹿保健所	102				90	1	2						*	*				
菊池保健所	216	13	12	27	125	2	2		8		1	1						
阿蘇保健所	43			2	11								*	*				
御船保健所	60				14	2							*	*				
八代保健所	159			3	37	14	4		1									
水俣保健所	28	2		3	17	2			3				*	*				
人吉保健所	56	2		4	55	12			4				*	*				
有明保健所	208		5	5	98	8	19		6								1	
宇城保健所	201	7	4	16	35	5	8		2		1	2	*	*				
天草保健所	203	1	2	2	55	3	4					4						
計	1792	33	33	100	716	87	45	0	40	0	2	9	0	10	0	0	1	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上		
インフルエンザ	1792	10	19	94	87	86	121	94	83	69	50	50	308	135	98	140	126	94	63	38	27		
小児科定点年齢	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上								
RSウイルス感染症	33	6	6	16	2	1	1						1										
咽頭結膜熱	33		8	13	3	2	1		3	3													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	100		1	8	9	14	13	15	13	5	6	11			5								
感染性胃腸炎	716	4	43	133	83	46	48	35	40	27	21	29	106	19	82								
水痘	87	1	3	21	24	17	9	6	2	1	1		2										
手足口病	45	1	4	27	7	4	2																
伝染性紅斑	0																						
突発性発しん	40	3	23	11	1	2																	
百日咳	0																						
ヘルパンギーナ	2				1				1														
流行性耳下腺炎	9				1	1	1		2	1	1	1		1									
眼科定点年齢区分	合計	0~5 カ月	6~11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上			
急性出血性結膜炎	0																						
流行性角結膜炎	10													2	1	1	3	2	1				
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上						
細菌性髄膜炎	0																						
無菌性髄膜炎	0																						
マイコプラズマ肺炎	1		1																				
クラミジア肺炎	0																						

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- インフルエンザ : 山鹿、宇城、天草
- 感染性胃腸炎 : 山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱 : 菊池

**インフルエンザ
山鹿、宇城、天草
で警報レベル!!**

【インフルエンザが注意警報レベルを超えました】
今週の報告数は、1,792件で、注意警報基準値を超えた前週の1,266件から約1.4倍に増加しました。地域別では、山鹿、宇城、天草が警報レベルにある他、ほぼ全域で報告が前週より増加しています。

- ◆インフルエンザを予防するために
 - ①手洗い・うがいを習慣づける
 - ②流行時には人混みを避ける
 - ③栄養、休養、睡眠を十分に取る
 - ④部屋の換気と保湿に心がける
- ◆インフルエンザにかかったら
 - ①早めに医療機関を受診し治療を受ける
 - ②学校や職場へは無理して行かない
 - ③水分を十分に補給する
 - ④咳エチケットを心がけ、外出を控える

【感染性胃腸炎、ロタウイルスが増加】
感染性胃腸炎は、716件で再び増加が続いています。地域別では、山鹿、菊池、人吉が警報レベルにあります。初冬から12月にかけてはノロウイルスが多く報告されてきましたが、前週からロタウイルスの報告が増えていきます。ロタウイルスの主な症状は嘔吐と下痢ですが、ノロウイルスよりも発熱を伴う場合が多く、重症度が高いとされています。別の原因により何度も感染性胃腸炎にかかることがありますので、引き続き、患者の便や嘔吐物の適正な処理、食事前やトイレの後の手洗いなど、感染予防対策を徹底しましょう。